

群マネの実施方針（秋田県内24市町村）※秋田市を除く

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

市町村の技術職員の減少に対応するため、技術補完として道路構造物の点検業務における事務負担を軽減し、県内全域で品質の一貫性を確保する

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

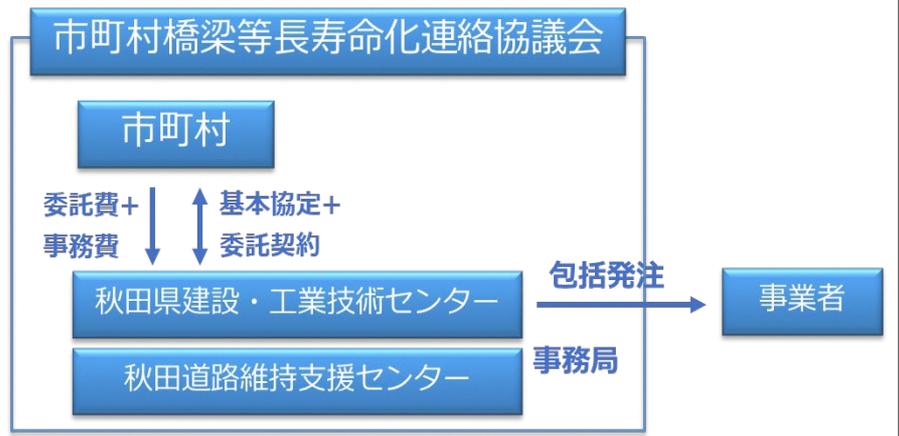
業務プロセス インフラ分野	日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
	窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事
道路			橋梁 ①	橋梁	橋梁	橋梁
			トンネル	トンネル	トンネル	トンネル
			道路附属物	道路附属物	道路附属物	道路附属物
			舗装	舗装	舗装	舗装
河川			河川構造物	河川構造物	河川構造物	河川構造物
公園			遊具	遊具	遊具	遊具
下水道			管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場	管路施設 処理施設 ポンプ場
その他			農道・林道 臨港道路	農道・林道 臨港道路	農道・林道 臨港道路	農道・林道 臨港道路

■ H26年度～(県内全25市町村が会員、うち24市町村が点検一括発注を実施)

② 発注方式等

- 契約期間の複数年化 : 有(●年)・無
- 性能規定の導入 : 有(●●業務)・無

(2) 自治体の束



- 地方自治法上の共同処理制度の適用: 有・無
- 連携協力道路制度の活用: 有・無

(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

- ⇒ ○ 連絡協議会等の場を活用して、共同で意見交換会や研修を実施

② データ連携の具体メニュー

- ⇒ ○ 県技術センターで開発した「道路施設点検データ管理システム」を構成自治体と共有済み
- ⇒ ○ コスト縮減策として、連絡協議会で点検に関する新技術等の機器・機材を保有し、構成自治体で共有できないか検討中